

Asian Diversity No.16 by ASNET

2011年度 冬学期総合科目の紹介 「アジア研究のフィールドワーク」

2011年度冬学期に「アジア研究のフィールドワーク」という科目を開講しました。

この科目は、フィールドワークのスキルを身に付けたい学生、ローカルな視点からアジアを学びたい学生、最新の情報技術を使った現地調査の方法を習得したい学生を対象に、その理論と方法を学ぶ科目です。

この授業では、まず文化人類学や生態人類学のフィールドワークに着目し、その長所や短所、先人たちの成果、最近のトピックを講義しました。

その後、オーストラリア・アボリジニ研究で有名な窪田幸子先生(神戸大学)をお呼びし、文化人類学にとつてのフィールドワーク、そして長期にわたる参与観察に基づいたアボリジニ社会の変化を紹介して頂きました。

また、情報工学がご専門の石川正敏先生(東京成徳大学)をお呼びし、デジタルペンによる野外調査支援の講義と実習を行いました。野外で書いたメモをそのままPCに取り込めるシステムを学生たちと本郷キャンパスで実際に利用し、このシステムの利用可能性を議論しました。

12月には学生たちと中国海南島に実習に行きました。担当教員(卯田)が10年前に調査をしていた少数民族の村を訪れました。村の佇まいはあまり変化しておらず、村のおばあちゃんたちも覚えていてくれました。10年ぶりに再会した王さんとは、自家製の白酒で乾杯。村の人たちは、村落の変化を学生たちに分かりやすく説明してくれました。学生たちがこの村の10年間の変化をフィールドで目で耳で理解できた瞬間でした。



実習に参加した学生たちと。



10年前に撮った写真を渡し、再会を喜ぶ。

文:卯田宗平

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET機構)は、アジアのことを広く、深く知りたい学生の皆さんに研究科等横断型「日本・アジア学」教育プログラムも実施しています。詳しくは下記のURL:

<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

ASNET機構

検索

Relay Column

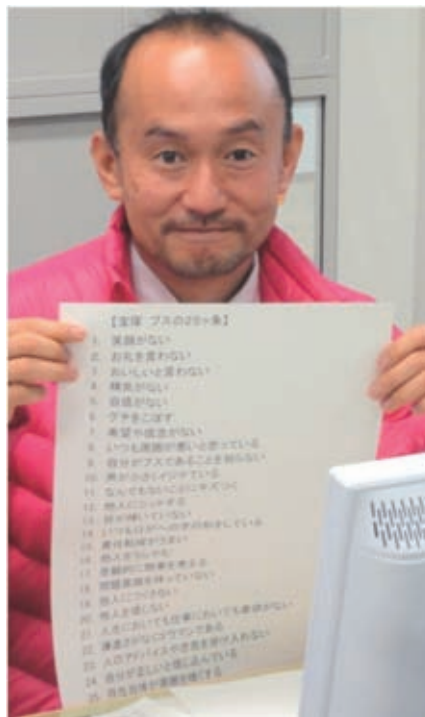
ワタシのオシゴト / 第72回

Rings around the UT

柏地区共通事務センター 人事係

古瀬 武彦さん

柏でもサッカー小僧しています



職場にて宝塚のブスの25ヶ条を心がけ

薬学部の萩原兄貴から紹介されました、やさしくて親切な、イケメンお笑い芸人!の古瀬です。柏地区共通事務センター人事係では物性研究所、宇宙線研究所、大学院新領域創成科学研究科、数物連携宇宙研究機構、空間・人工物研究センター、サステナビリティ学連携研究機構、柏地区事務部の人事関係業務を優秀なスタッフと共に行っています。今の時期は年度末の手続きに追われていますが、お昼休みのサッカーで

気分転換して日々頑張っています。サッカーではゴールを決めるよりも笑いを取るほうが多く、ヘディングを失敗すると「すべった」と突っ込まれたりしていますが自分の中ではおいしいと思っています。楽しくサッカーをし午後の仕事の活力にしています。教職員の協力のもと、年度末を乗り越えられるよう頑張っています。



今日は少ないですが、サッカー小僧達(月曜日のみ柏IIにて)

得意ワザ: 体重のリバウンド

自分の性格: ピエロ

次回執筆者のご指名: 小林晃さん

次回執筆者との関係: 色々な意味での師匠

次回執筆者の紹介: 一度聴いたら忘れられない声の持ち主